



## えがおの食じ

高崎市立西小学校 2年 長瀬 佳歩

妹が手じゅつをしました。おかあさんは、妹のつきそいで入いんしたので、しばらくおとうさんと2人きりでくらしました。

いつもなら、ごはんのじかんにだいどころからおかあさんのほうちようの音ときたてのごはんのいいにおいがしてきます。そのにおいをがくと妹もわたしもおなかがぐーっとなって、まちきれなくなります。ごはんができると、妹がおいしそうにごはんを食べて、たくさんこぼして、おかあさんとおとうさんとわたしがわらいます。みんなで今日はなにがあったか話をします。でもさいごは、おしゃべりばっかりしてないで早く食べなさい、とおこられます。

妹とおかあさんがいない食じは、いつもよりしづかで、あつというまに食べおわってしました。おなかはいっぱいになっても、妹がしんぱいで、さみしくて、気もちはいっぱいになりませんでした。

しばらくして、妹とおかあさんがかえってきました。だいどころからきたてのごはんのいいにおいがしてきました。妹もわたしもおなかがぐーっとなりました。元気になった妹がおいしそうにごはんを食べて、たくさんこぼしているすがたを見て、わたしもおかあさんもおとうさんもわらいました。たくさん話をして、早く食べなさいとおこられました。たのしくて、うれしくて、おなかもいっぱいになって、気もちもいっぱいになりました。おいしいごはんはみんなで食べるともっとおいしくなります。かぞくがあつまって、おいしいごはんをいっしょに食べると、こころがつながります。これからもかぞくみんなのえがおの食じを大せつにしたいです。